

34 旧柳瀬家住宅



設計：不詳
施工：不詳
竣工：主屋(茅葺) 明治後期から大正初期
 付 属 棟 主屋より約10年後
構造：主屋(茅葺) 軸組工法（伝統構法）
 付 属 棟 軸組工法
所在地：西区櫛谷町長谷



旧柳瀬家住宅のある櫛谷川中流域は田園風景が広がる一方で、県道沿いには多種多様な建築物が点在します。かつての農村風景が失われつつある中、茅葺屋根の農家の佇まいのある風景は当地区の歴史的な景観資源として大変貴重なものになっています。

街道からの視認性も良く、主屋屋根の金属覆いを取り払い、かつての茅葺の状態に復元するなどの修景を行ったことで、都市と農村という神戸を象徴するような風景をなす当地区の景観資源となっています。



都市と農村の対照的な風景